



キラキラきらめく ②5

大恵 彩伽さん

おおえ あやか 吉備国際大学3年生

広島市生まれ、岡山市育ち。小さかった頃は引っ込み思案で、今は「自他ともに認める天然キャラ」という彩伽さんですが、コロナ禍で思うように活動できない中、心理学の勉強に励み、また、順正学園ボランティアセンターの学生スタッフリーダーとして貧困世帯へ食料品を送る活動「デリシャスフードキッズクラブ」を精力的に牽引し、「9月に予定しているイベントも成功させたい」と語ります。

「将来のことはハッキリ決めていませんが、ボランティア活動は必ず続けていきたい。多様な考えを持つ人たちと一緒に考え、協力して行動することはとても楽しいです」と話し、目を輝かせました。



「ジャパンレッド」発祥の地—弁柄と銅の町・備中吹屋— ⑫

日本遺産に認定された『「ジャパンレッド」発祥の地—弁柄と銅の町・備中吹屋—』のストーリーを構成する文化財を紹介します。

さんじんしゃあと 「山神社跡」 未指定記念物(遺跡地)

山神社は、享保年間(1716～35)に、地元の銅山経営者大塚家が勧請した銅山の守護神などを祀っていました。旧本殿は、総檜の入母屋造平入三間社で、千鳥破風と軒唐破風を重ねた壮麗な建築様式となっています。

近年の修理に際して、部材の一部に「寛政十三年塩飽笠嶋高嶋清兵衛」と書かれた墨書が見つかり、寛政13(1801)年の修理時に塩飽(現香川県丸亀市)の宮大工が関与したことが確認されました。

明治6(1873)年に吉岡銅山の経営に参画した三菱商会は、当社に三菱のマークを刻印した鳥居や玉垣を寄進し、銅山の繁栄を祈願しました。

昭和47(1972)年の銅山閉山後は、参拝者も減少し、御神体は近くの高草八幡神社に移されましたが、今でも地元の人からは「山神様」と呼ばれ親しまれています。



山神社跡(旧本殿)



玉垣に彫られた三菱のマーク

問 高梁市日本遺産推進協議会事務局(日本遺産・歴まち推進室) ☎ 21-0257